

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

平成22年1月25日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873200349		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム れんぎょう	ユニット名	東館
所在地	〒319-0206 茨城県笠間市安居3144-521		
自己評価作成日	平成21年8月21日	評価結果 市町村受理日	平成22年1月12日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年10月9日	評価確定日	平成22年1月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的に過ごすことが出来 笑顔のある生活が出来るように取り組んでいます。 笑顔がある日々を過ごせるように取り組んでいます。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

全職員が「やさしく しんせつ ていねいに」の理念に基づき、利用者の思いを受け止めるとともに明るく元気にケアに努めている。 利用者の高齢化に伴い、変化する状態への対処方法を職員がカンファレンスなどで話し合い、管理者の指示のもと適切なケアができるよう取り組んでいる。
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	優しく親切丁寧にを 法人と共有し利用者の笑顔と人権を守るように取り組んでいます 何かあるたびに理念を再確認しています	理念を全体ミーティングなどで話し合うとともに、地域に根ざした生活の継続と利用者一人ひとりのケアの方法や声のかけ方などについて意見を出し合い、理念に基づいた支援を実践している。	理念は同一法人のグループホームで統一したものであるため、職員と話し合い地域密着型サービスを意識した独自の理念を作成することを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣の畑に 草取り 野菜取りに出かける事があります 近隣にはホームの行事に声掛けして参加の呼びかけをしています	利用者と職員は日常の散歩時に地域の人々と挨拶を交わすほか、ホーム主催の祭りや運動会の開催案内を個人宅のポストに投函し、地域の人々を招待して交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて 出来ることはやってゆきたいと思っています 散歩のたび 挨拶をする事で事業所のこと 認知症については 理解していただいているように思います		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議のたびに 事業所の報告をしましまた 行事等の開催に向けての意見を求めています	運営推進会議は利用者や家族等、地域包括支援センター職員、民生委員、地域住民、施設統括責任者、職員で2ヶ月に1回開催している。会議では行事等について意見交換をしたりホームの現況を報告し、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。委員に会議録を送付する時に次の開催日や議題を知らせ、効率的に会議ができるようにしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	包括支援センターの方 市役所 福祉担当の方とは交流を持ち 利用者さんの 情報を共有する事があります	生活保護受給者の連絡等で市の担当部署と行き来するなど連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の鍵だけはかけさせていただいておりますが 館内は自由に行き来しています 身体拘束はしない事し しないで済む方法を探しています 言葉の拘束にも注意しています	玄関前の道路は車の往来が激しく危険防止のために施錠しているが、必要時には開錠し利用者が自由に散歩や外出ができるよう配慮している。 身体拘束ばかりではなく言葉の拘束についても職員で話し合い、拘束をしないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	不審なアザなど 気がついて時点で皆で話し合い 虐待ではなかったか確認をしています言葉の虐待についても十分に 注意しています 職員は ストレスを貯めない 疲れを貯めないようにしています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今の所其の様な方はおりませんが 必要に応じて支援してゆきます 現在1名ですが成年後見制度を利用されています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	御利用の際に十分説明し 契約を交わしています 御利用前にも施設内の見学を進め 納得してからの利用を勧めています 御家族様には 何でもいえるような 雰囲気を作るように配慮しています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を掲示し ご意見箱を玄関にしています また 何でも話しやすいように声掛けすること 何かありませんかと聞くようにしています	家族等の来訪時に話を聞くとともに、出た意見等を職員で話し合い改善に努めている。 玄関に意見箱を設置しているが投函の実績はない。	意見を出しにくい家族等に配慮し、家族アンケートを予定しているので実施することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月一回の 法人の会議があり そこで意見が言えるようになっていきます また 何かあるときには 其の都度 機会を設けてくれています	管理者は毎月のカンファレンスや問題が発生した場合に会議を開催し、職員から出た意見や要望を話し合い運営に反映してる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自分の受け持つユニットは責任を持って仕事ができるようになっていきます また チームの職員間の相性も考慮してくれています 疲れすぎないようにも人員 休みの配慮をしてくれています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な研修はありませんが機会があり度に研修には参加しています自主的な参加を希望したときも勤務などの配慮があります		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	福祉施設共同事業連絡協議会により他施設との交流が持てる様になりました他施設に研修に行くこともできます		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初めての生活に戸惑いや不安を少しでも軽く出来るようになるべく側にいて話を聞いたり1日の生活時間を伝えるようにしています1人で過ごす事が無い様に配慮しています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始の時期に御家族の思いを聞いてサービスの中に取り入れ確認し必要があれば御家族の協力をお願いしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者の状態家族の希望思いを聞いて他の施設を紹介する事もあります必要に応じて職員と1対1で介護にあたることもあります		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	わからない事は聞いたり 教えてもらっています 職員が忙しそうにしていると 自ら食器を洗ってくれたり 食事の介助をしてくれています また ひと時も目の離せない人の見守りをお願いする事もあります		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	必要に応じて 家族と相談しながら支援しています 利用者に 面会が少ないようなときは 個別に近況報告をしています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	交通手段を持たないので 逢いに行くということは出来ませんが Tel 手紙などの支援を行っています また 来ていただいた時は 気兼ねなく過ごせるように配慮しています	一人暮らしだった利用者が多いため、友人や知人などの訪問は少ないが、来訪があった場合は気兼ねなく過ごせるよう支援している。 利用者が友人等に手紙を書いたり、馴染みの美容室などへ家族等と出かけるなど、職員は利用者のこれまでの人や場所との関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	カラオケをしたり 昔話をしたりして孤立する事が無い様に支援しています トラブルことが無い様に配慮し 共に楽しめるように勤めています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて 出来るなら今までのようにお付き合いをお願いしたいと思いますが 契約の終了は 逝去であるため 関係が維持されている事はない		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の行動 言動の中から どうしたいのか職員同士話し合いをしています 確認できる方には 直接聞いています	利用者から思いや意向を聞き把握に努めるほか、意思疎通が困難な利用者には言葉やしぐさなどから汲み取り、職員で話し合い記録し共有している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始時に どんな生活をされていたのか家族 本人から聞いています また 繰り返される日々の中で本人と話すことで 聞き取れる事もあります	/		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝 夕に行われる申し送りで 1人1人の状況を把握 確認しています			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	会議を行い 課題・援助内容について話し合って決めています 家族の思いにも十分に配慮しています 毎月の支援経過を記録すると共に必要に応じて 計画の見直しをしています	介護計画はサービス担当者会議を年1回開催し、利用者や家族等から希望や意見等を聴き作成している。心身の状態に変化があった場合は随時関係者と話し合い、現状に即した介護計画に見直している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各個人のファイル ケース記録を毎日書いております 記録を読む事で 情報の共有をしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況の変化 体調の変化により家族と相談しながら 介護計画書の変更をしています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事等において ボランティアの方に協力をお願いしています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体が 病院の為 御家族様の了承を得た上で 母体の病院にお連れしています 他病院に通院される事については 御家族様の協力を得ております	希望のかかりつけ医への受診は家族等が付き添っている。 提携医療機関から2週間に1回往診があるほか、薬が必要な利用者には2週間に1回職員が付き添って受診を支援している。 検査結果等で変化があった場合は電話で家族等に報告するほか、変化がない場合は少なくとも6ヶ月に1回利用者の状況を手紙で報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	どんな事でも 病院に連絡し 指示を受けています 受診時には 日々の暮らしの中での 体調の変化なども伝えていきます		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院に際しましては サマリーを書いて利用者の情報を共有しています 退院についても情報を交換し 早期の退院が 出来るようにしています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療連携体制をとり 御家族様と相談しながらホームで 出来る事 出来ない事を話し 合って決めています	重度化や看取りに関する説明書を作成するとともに、ホームで対応できることや不可能なことを利用者や家族等に説明し同意を得ている。 利用者や家族等、医師、看護師などで話し合い方針を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習を受けています また ケアマネが准看護師であるため 其の都度 どうすることが良いのか聞いています 定期的に 訓練してゆきたいと思う		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を行っています 災害時に備えて 水の確保はしています 市のほうにも連絡する事となっています	年2回避難訓練を実施するほか、夜間を想定した訓練も実施しているが、地域と連携を図るまでには至っていない。 災害に備えて飲料水は備蓄しているが、食品はチョコレートやクッキーが主である。	緊急時に地域の人々の協力が得られるよう普段から声をかけたり、運営推進会議などで働きかけることが望まれる。 災害に備えてレトルト食品等の食糧を備蓄することが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	各個人のプライドを大切にして言葉使いに注意しています プライバシーが守れるように配慮しています	プライバシーの確保を徹底するまでには至っていない。	プライバシーの確保に向け言葉かけや支援方法などの勉強会を開催し、全職員で取り組むことを期待する。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	おやつ お茶をするとき 何か良いのか聞くようにしています (暖かいもの 冷たいものなど) 行事 散歩などについても本人の希望を聞くようにしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴日 時間などは 決まっていますが 本人のペースを大切にするようにしています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪のカット 本人の希望を聞いて決めています 衣類なども 本人に聞いてから 準備 着ていただいております		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しく食べられるように 雰囲気大切にしています 配膳は お願いする事は無いのですが 下膳はお願いしています 酢の物など 気が向くと作ってくれたり 食器を洗ってくれる事もあります	運営母体の栄養士が立てた献立の材料が届き、主に職員が調理している。 職員は介助の必要な利用者の中に入り、他の利用者にも目配りをしながら食事の支援をするとともに、会話を楽しみながら一緒に食事をしている。 食後は利用者の能力に応じて職員と一緒に後片付けをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量については 毎食チェックしています 食欲低下などがあるときには個別に 食べられたもの 水分の量などを細かく記録しています メニューは 病院の栄養士が立ててくれています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に 口腔ケア うがいを行っています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	声掛けして 誘導しています 立てる人は トイレに誘導します オムツはなるべく使用しないことを心がけています	職員は利用者一人ひとりの記録から排泄パターンを把握するとともにプライバシーに配慮しながら声かけ誘導をし、トイレでの排泄を支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	記録を確認し便秘とならないように食事運動水分に配慮しています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	時間曜日は決まっていますが各個人のペースが保てるようにしています3ユニットあるので他のユニットで入浴も出来ます	入浴は週2回と決まっているが、畑作業で汗をかいた時などは他のユニットでの入浴が可能であり、利用者の希望にそって支援している。利用者一人ずつの入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく良く眠れるように日中良く動いていただくようにしていますまた疲れているようなときは部屋で気兼ねなく休めるように支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を頂ファイルに入れていつでも確認できるようにしています副作用についてもかかれています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人に出来る事をおねがいでいます季節ごとの行事を行い楽しんでいただいていますお酒タバコは禁止となっています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ホームにおいては散歩ぐらいの外出しか出来ませんが 御家族様にお願いして 外出 外泊など出来るように支援しています	利用者は職員と一緒に地域内を日常的に散歩している。 医療機関を受診した帰りに利用者が希望する品物を購入できるよう支援している。 季節ごとに花見や紅葉狩りなどに出かけている。 家族等と協力しながら利用者が外出を楽しめるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の力量に応じて支援しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	支援しています 手紙の投函 電話の取次ぎなど		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	洗面台 玄関などに季節の花を飾っています利用者自身が花を生けたりしている 部屋の温度 明るさにも十分に配慮しています 部屋の間違いが起こらないように目じるしを付けています また うろうろしているようなときには どこえ行きたいのか 声を掛けています	利用者が多くの時間を過ごす居間兼食堂は明るい光が差し込み、居心地良く過ごせる場所となっている。 台所で調理する音や匂いが五感を刺激し、食欲を高めている。 浴室やトイレは車椅子対応の広さを確保するとともに廊下にソファを設置し、気の合う利用者同士が会話を楽しめるよう工夫している。 廊下から利用者の耕す畑が眺められ、季節が感じられるようになっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個室になっていて 一人の時間を持てる様になっています ホールには 長いすが置いてあり てれびをみたり お話してできるようになっています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具などの持込をお願いしていますが 持込は 余りありません 各個人 自由に部屋の飾り付けを行っています	居室のベッドや整理箆筒、洗面所は備え付けであるが、利用者は鉢植えや人形、位牌などを持ち込み居心地よく暮らせるよう工夫している。 全室が日当たりの良い南向きで、居心地よく落ち着いて暮らせる環境となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置 バリアフリーになっています 歩行器 車椅子など本人に合ったもので歩く事をいただいています 掃除 洗濯をされている方もあります		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

グループホーム れんぎょう

作成日 平成22年1月20

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	意見を出しにくい家族等に配慮しての 家族へのアンケート等の意見の吸い上げへの工夫	家族が意見を出しやすいようにしてゆく	アンケートを定期的に行い 意見を出しやすいようにしてゆく 代一回目は11月実地	年2・3回のアンケートをしてゆく
2	14	プライバシーの確保の徹底が不十分	個人のプライバシーの確保の徹底	定期的にカンファレンスを行い お互いが注意し合うようにしてゆく カンファレンスは 一ヶ月毎に行う	一年くらい
3	13	災害に備えての備蓄 地域の人々への協力の要請	必要最低限の備蓄の確保	運営推進会議の議題とし話し合う 備蓄については運営者と話し合っゆくようにする	次回会議は2月を予定
4	1	地域密着型サービスとしての理念の作成	地域に根ざした理念の作成	運営推進会議で意見を聞きながら 職員皆で考えてゆく	一年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。